



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 東洋炭素株式会社
 コード番号 5310 URL http://www.toyotanso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 近藤 尚孝
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 増田 茂樹 TEL 06-6472-5811
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	15,514	△19.0	2,063	△34.7	2,105	△31.3	1,461	△36.5
2019年12月期第2四半期	19,141	△13.2	3,158	△24.4	3,066	△25.1	2,303	△24.6

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,097百万円 (△42.2%) 2019年12月期第2四半期 1,899百万円 (△20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	69.69	—
2019年12月期第2四半期	109.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	74,847	65,712	86.8
2019年12月期	76,082	65,706	85.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 64,973百万円 2019年12月期 64,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年12月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、2020年8月7日発表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△17.6	3,200	△38.2	3,200	△38.6	2,200	△25.3	104.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、2020年8月7日発表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	20,992,588株	2019年12月期	20,992,588株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	19,848株	2019年12月期	19,815株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	20,972,764株	2019年12月期 2 Q	20,972,816株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年8月18日に証券アナリストおよび機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日TDnetにて開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
(1) 品目別の受注及び販売状況	12
(2) 概況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済が急激に減速し、当企業グループを取り巻く事業環境は、自動車や航空機などの輸送機器関連市場をはじめ、半導体市場やエネルギー関連市場の需要が大幅に減少するなど、極めて厳しい状況で推移しました。

このような中、当企業グループは、従業員・顧客・地域社会の安全確保を第一義に据えたうえで、経済停滞の影響を最小限に抑えるべくあらゆる手立てを講じるとともに、コロナ後の中長期的な成長を見据え、高付加価値製品の増強や生産性向上、新製品・新規事業開発などの取り組みを推進してまいりました。

なお現時点において、連結子会社を含めた当企業グループは、各国政府および自治体の指示・要請に従い、一部拠点で在宅勤務を実施しながら、すべての拠点において事業活動を継続しており、国内外において概ね計画どおりの生産活動を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は15,514百万円（前年同期比19.0%減）、利益については、営業利益2,063百万円（同34.7%減）、経常利益2,105百万円（同31.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,461百万円（同36.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。（品目別の概況は「3. 補足情報」をご参照ください。）

日本

パンタグラフ用すり板の堅調な需要もあり、機械用カーボン分野は若干減に留まったものの、半導体用やLED用、工業炉用および連続鋳造用を中心とした冶金用が大幅に減少したことにより、売上高は8,472百万円（前年同期比18.2%減）、営業利益は1,756百万円（同26.9%減）となりました。

米国

半導体用が大幅に減少したほか、冶金用においても、放電加工電極用や工業炉用が減少したことにより、売上高は1,319百万円（同23.4%減）、営業利益は9百万円（同97.6%減）となりました。

欧州

冶金用やカーボンブラシ製品、半導体関連が低調に推移したことにより、売上高は1,615百万円（同8.4%減）、営業利益は36百万円（前年同期は67百万円の営業損失）となりました。

アジア

LED用および太陽電池用が減少したことに加え、光ファイバー用や放電加工電極用などの冶金用やカーボンブラシ製品等、主力用途が軒並み減少したことにより、売上高は4,106百万円（前年同期比22.5%減）、営業利益は296百万円（同41.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,235百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1,495百万円増加したものの、有価証券を2,999百万円購入したこと等により現金及び預金が3,872百万円減少および受取手形及び売掛金が2,529百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,240百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が179百万円減少、電子記録債務が195百万円減少、未払金が562百万円減少および前受金の減少等により流動負債その他が224百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が412百万円増加したものの、その他包括利益累計額合計が392百万円減少および非支配株主持分が14百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を公表することといたしました。詳細につきましては、2020年8月7日発表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,099	14,227
受取手形及び売掛金	14,195	11,666
有価証券	—	2,999
商品及び製品	6,875	7,757
仕掛品	5,505	5,391
原材料及び貯蔵品	3,036	2,619
その他	449	492
貸倒引当金	△217	△165
流動資産合計	47,943	44,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,685	8,780
機械装置及び運搬具(純額)	6,992	6,805
土地	5,814	5,814
建設仮勘定	2,007	3,527
その他(純額)	1,373	1,441
有形固定資産合計	24,874	26,369
無形固定資産	224	232
投資その他の資産	3,039	3,255
固定資産合計	28,138	29,857
資産合計	76,082	74,847

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,685	1,505
電子記録債務	1,056	860
短期借入金	227	245
未払金	1,986	1,423
未払法人税等	614	582
賞与引当金	398	329
役員賞与引当金	31	—
その他	3,558	3,333
流動負債合計	9,558	8,281
固定負債		
長期借入金	68	52
退職給付に係る負債	138	141
資産除去債務	262	264
その他	347	394
固定負債合計	817	853
負債合計	10,375	9,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,789	9,789
利益剰余金	46,717	47,130
自己株式	△60	△60
株主資本合計	64,394	64,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	112
為替換算調整勘定	442	52
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	558	165
非支配株主持分	753	739
純資産合計	65,706	65,712
負債純資産合計	76,082	74,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	19,141	15,514
売上原価	12,509	10,515
売上総利益	6,632	4,998
販売費及び一般管理費	3,474	2,934
営業利益	3,158	2,063
営業外収益		
受取利息	35	34
受取配当金	8	60
持分法による投資利益	26	29
その他	95	44
営業外収益合計	165	168
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	217	109
その他	37	15
営業外費用合計	257	126
経常利益	3,066	2,105
特別利益		
固定資産売却益	3	20
補助金収入	8	9
特別利益合計	11	29
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	128	73
特別損失合計	133	73
税金等調整前四半期純利益	2,944	2,062
法人税等	609	576
四半期純利益	2,335	1,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,303	1,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,335	1,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△2
為替換算調整勘定	△496	△366
退職給付に係る調整額	75	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△20
その他の包括利益合計	△435	△389
四半期包括利益	1,899	1,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,895	1,069
非支配株主に係る四半期包括利益	4	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,944	2,062
減価償却費	1,418	1,390
持分法による投資損益(△は益)	△26	△29
退職給付に係る資産又は負債の増減額	75	△49
賞与引当金の増減額(△は減少)	△118	△66
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△31
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△88	△46
受取利息及び受取配当金	△43	△94
支払利息	2	1
為替差損益(△は益)	49	36
固定資産除売却損益(△は益)	130	53
売上債権の増減額(△は増加)	1,285	2,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△563	△458
仕入債務の増減額(△は減少)	△455	△243
その他	△277	△613
小計	4,299	4,274
利息及び配当金の受取額	53	102
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額	△1,117	△587
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,233	3,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,253	△2,654
定期預金の払戻による収入	5,564	7,866
有形固定資産の取得による支出	△1,439	△3,173
有形固定資産の売却による収入	4	28
無形固定資産の取得による支出	△57	△58
その他	△38	△229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	1,778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25	20
長期借入金の返済による支出	△29	△15
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27	△31
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,046	△1,047
非支配株主への配当金の支払額	△70	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,148	△1,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	△73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	771	4,373
現金及び現金同等物の期首残高	6,414	6,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,186	10,474

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、世界各国で非常事態宣言や入国制限、都市封鎖(ロックダウン)等の措置がとられており、わが国においても緊急事態宣言が発令され、当企業グループの事業活動にも大きな影響を及ぼしています。

これにより、今後も当企業グループの業績に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは不透明な状況にあります。

今後、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期を見通すことは困難な状況にありますが、当連結会計年度末に向けて、経済活動が再開されている地域から徐々に業績が改善するものと仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当企業グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,355	1,722	1,763	5,300	19,141	—	19,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,278	162	1	104	3,547	△3,547	—
計	13,634	1,885	1,764	5,405	22,689	△3,547	19,141
セグメント利益又は 損失(△)	2,401	397	△67	502	3,233	△75	3,158

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	8,174	1,914	1,855	7,114	5,010	82	19,141
割合(%)	42.7	10.0	9.7	37.2	26.2	0.4	100.0

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,472	1,319	1,615	4,106	15,514	—	15,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,096	14	—	64	3,176	△3,176	—
計	11,569	1,334	1,615	4,171	18,690	△3,176	15,514
セグメント利益	1,756	9	36	296	2,099	△35	2,063

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	6,726	1,529	1,533	5,658	3,763	65	15,514
割合(%)	43.4	9.9	9.9	36.5	24.3	0.3	100.0

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……米国

(2) 欧州……フランス、ドイツ、イタリア

(3) アジア……中国、台湾、韓国

3. 補足情報

(1) 品目別の受注及び販売状況

①受注金額

(単位：百万円)

品目	2019年12月期						2020年12月期		
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	年度合計	1Q	2Q	2Q累計
特殊黒鉛製品	3,671	3,505	7,177	3,200	3,305	13,683	3,458	2,838	6,296
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	976	1,023	2,000	928	928	3,857	1,129	834	1,964
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,126	1,130	2,257	1,053	1,186	4,496	1,076	852	1,929
複合材その他製品	2,487	1,994	4,481	1,680	1,919	8,082	1,769	1,544	3,313
合計	8,262	7,654	15,917	6,863	7,339	30,120	7,433	6,070	13,503

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

※2. 一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

②受注残高

(単位：百万円)

品目	2019年12月期				2020年12月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
特殊黒鉛製品	3,177	2,859	2,510	2,279	2,437	2,115
一般カーボン製品※2 (機械用カーボン分野)	770	823	829	781	905	789
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	848	827	741	780	900	707
複合材その他製品	4,029	3,540	2,829	2,442	2,284	1,884
合計	8,826	8,050	6,910	6,283	6,527	5,496

(注) 1. 前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

※2. 一般カーボン製品(機械用カーボン分野)には内示による受注を含めております。

③品目別販売実績

(単位:百万円)

品目	2019年12月期						2020年12月期		
	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	年度合計	1Q	2Q	2Q累計
特殊黒鉛製品	4,227	4,300	8,528	3,993	3,895	16,417	3,650	3,455	7,106
【エレクトロニクス分野】	1,440	1,540	2,981	1,502	1,474	5,958	1,351	1,305	2,656
【一般産業分野】	2,308	2,275	4,583	2,090	2,052	8,726	1,880	1,664	3,545
【その他】	478	484	963	400	368	1,732	418	485	904
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	960	998	1,958	952	1,009	3,921	1,032	977	2,009
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,128	1,141	2,269	1,121	1,136	4,527	945	1,040	1,986
複合材その他製品	2,756	2,429	5,186	2,384	2,312	9,883	1,929	1,959	3,888
【主要3製品】	2,347	2,041	4,389	1,973	2,007	8,370	1,675	1,684	3,359
【その他製品】	408	387	796	411	305	1,513	253	274	528
商品	614	584	1,199	273	179	1,652	338	184	523
合計	9,686	9,455	19,141	8,726	8,533	36,402	7,897	7,616	15,514

(2) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、単結晶シリコン製造用については、低調ながらも下落幅は比較的小幅に留まったものの、化合物半導体製造用および太陽電池製造用の販売が落ち込んだことにより、前年同期比10.9%減となりました。

一般産業分野は、自動車や航空機の生産台数減少の影響により、放電加工電極用や工業炉用などが落ち込んだことに加え、中国における光ファイバー向けの需要が大幅に減少したことにより、前年同期比22.7%減となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比16.7%減となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、パンタグラフ用すり板および主力製品の軸受・シール材が堅調に推移したことにより、前年同期比2.6%増となりました。

電気用カーボン分野は、家電用が低調に推移したことにより、前年同期比12.5%減となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比5.5%減となりました。

複合材その他製品

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品は、半導体用が堅調に推移したものの、LED用が低水準で推移したことにより、前年同期を大幅に下回りました。C/Cコンポジット製品は、半導体用、工業炉用および太陽電池用の全ての用途において売上が落ち込んだことにより、前年同期を大きく下回りました。また、黒鉛シート製品は、半導体用および冶金用が落ち込んだことに加え、自動車用の需要減少により、前年同期を下回りました。

これらの結果、主要3製品は前年同期比23.5%減となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比25.0%減となりました。